メラ

中

### 當 漸 猛 語 (其三十九

## 軒 獨 語

# 大正八年五月落合英二君 〇みたきのりトきせがはのり ハ仙臺郊外三瀧ニ

於テ廣瀬川

原

ー起伏

ス jν 安山

種

ノ地

衣

着

生

ス

jν , ヲ 發

兒

木曾川 シ タ n

川沿岸上松附近ニ杁ルモ其種名ヲ決定ス

こかかっ

集シ最近ニ

至リ駿河黄瀬川

Annales mycologici, vol. XXIX. no. 1/2,

= =

リテ新種

小認

ス

N 岩上 = 同

至ラ 品 ヲ

ズ其後予

落合君ヲ先達

ŀ **≥**⁄

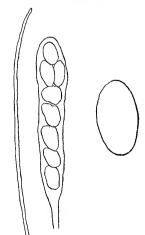
安田

テ三瀧

p. 79, 1931. ニ載テ居ル、此ノ地衣ノ和名ハ最初ノ發見地ニ因デ予ノ命名シタルモノデ本邦産 Pyrenopsidaceae 河中ニ突出スル「ラバ」上ニ無子器ノモノヲ獲タリ予ノ木會川採集品ハZAHLBRUCKNER博士 ノ顯著ナル代表者デアル、 【篤氏之ヲ Thyrea 屬ノモ レ Thyrea hondoana A. Zahlbr. ナル學名ヲ得タ其簡單ナル記事ハ ニ至リ有子器ノモ ī ヲ採リ後大正 みたきのり 其外形ハ眞黑デ多クノ瓣片ガー箇所ョリ叢生シ幅二―四「ミリ」、多少直立シ分枝 ノタル Thyrea hondoana A. Z. (當軒原圖)  $\times 5$ コトヲ撿定 十五年



きせがはのり Thyrea sp. 約×5 (舊軒原圖)

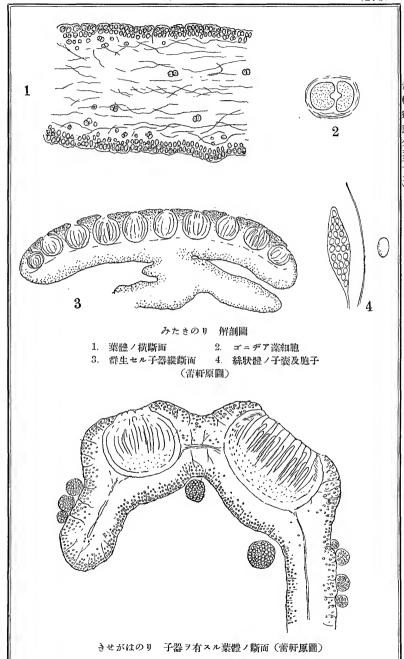


きせがはのり 絲狀體、子囊及胞子 (蕾軒原圖)

蕾 軒

朝 比 奈 泰

彦



大サ

10×6μ位デアル、

學名ハ未詳デアルガ取り敢へズきせがはのり

ŀ

命名

シテ

置

球形又

ハ

橢圓

體

デ

大

サ

6×5µ

デ

7

生明

同

助

敎

**数授石川** 

治

缺如 燥後 ァ 密 ガ 高 黄 ス 集 ハ サ 色 シ 硬 靱 絲狀 = 中 染 央 デ セ 部 體 ア 7 ₹ ハ ッ 單 位 テ 居 稀 横 = デ 斷 至 iv 子 ァ 面 n 子器 囊 n ヲ 見 ハ 表 囊狀 此 jν ハ 面 枝端 藻細 ŀ ハ 皮 滑 叉 層 胞 ハ 二 壓 紡錘 ハバ粉 多數密集 或 和球藻デ通 顆 釈 粒 釈 薄 シ 膜 地 常 髓 性 衣 裂 大 體 層 芽 サ 內 箇 ヲ 歯 宛 = .具. 60×15μ位 埋 厚 絲 沒 \* 枝 ۱ر 粘 ュ シ 僅 膜 n 先 クス \_ = 端 デ 孔 包 多數 ハ 多 口 ~ レ 交リ「 ヲ ン 炒 テ居 胞 現 水 ハシ子 子 平 ゴ ラ含ム jν = ニヂ 廣 殼 此 ガ ア 膜 ŋ ハ 極 胞 襞と 表面 子 ķ 兩 ヲ テ 面 持 ハ 無 薄 = = テ 色單 近 接 居 " 殆 近 キ ŋ 室 ŀ." モ 乾 シ

會 デ 居 ァ 其 w ح 着 ŋ 眧 N ŀ 地 4 キ 和 衣體 五. 子 = 六 器 能 车 V 3 ピノ構造 = 四 IJ 共雜 表 月 一見みたきの ラ上 面 = 駿 並 ハ シ みたき 豆境近 下 テ = 葉緣 少 シ 色 シ のりニ ク形態で h = ŋ 疣狀 ノブ黄瀬 = オ 一似テ居 ŋ 3 = ヲ ì ク似 突起シ盤 異 Щ ブ n 河 = 褐 ロテフゴ ガ 中 **≥**⁄ 色 形 タ = 叉 ガ゛ 夥 Æ ニニヂ 初 ハ 毛 , 3 黑 ヲ ッ ク ア」ハ矢張リ粘球藻デア 岩石 狹 見 味 ŀ 不 ク 付 ガ 後 カ ッ 規則デ ケ ガ 露 t テ 茁 タ「オリー 3 ` へら形 開ク子嚢 ŋ シ 檢 テ居 査 ヤラ ス N ブ 處 ハ jν 色デア 線狀 八 ・リ表面 ŀ デ 子ヲ 前 J 述 デ V 分枝 納 n = モ 7 近 み 亦 V Thyrea + 表面 胞 シ た テ居 É 子 Æ 1 0 ٠, 橢 h jν ハ 顆 其 ヲ 圓 Æ = 膜 粒 屬 採 形 黄 釈 無 ャ ス 集 色單 色 ラ w €/

裂芽

雜

IJ

モ ッ

ラ帯

# 籔 州江 浦採集旅行日記

白 井 光 太 鄓

理

學

博

1:

## シ ガ

\*

七年三月下 千 代松先生植物學助教授松村任三先生同大人保三郎先生 旬 東 京 大學 生物 學 子第二年 第二 學 期 試業已ニ了 リニ 週 日 四 休 君 暇 ハ 來 動 w 植 時 物 = 採 動 集 物 學 命 敎 ヲ蒙 授 箕 ŋ 作 同 佳 吉 敎 室 先

級州江 浦探集旅行日